

## 【参考】

# 尼御前スマート IC 社会実験の概要

## (1) スマート IC 社会実験の目的・内容

日本の高速道路が利用されにくい理由の一つに、隣接する IC と IC の距離が長いこと(平均約 10 km)が挙げられます。そこで、国土交通省では、既存の高速道路の有効活用や地域経済の活性化を推進するため、建設費や管理費を削減できるスマート IC (ETC 専用 IC) の導入を検討しています。

本実験は、一般道に容易に接続可能な既存の SA・PA に ETC 専用の仮設出入口を設置し、スマート IC 運営上の課題等を把握するものです。



### 尼御前 SA スマート IC 社会実験の目的・内容

観光の利便性の拡大、高速自動車道の利用促進を把握

- ・加賀温泉郷及び周辺観光地の回遊ルート等、観光の利便の拡大を把握
- ・日常生活等における高速道路利用促進効果を把握

今後のスマート IC の円滑な導入を図るため、整備・運営上の課題を把握

- ・スマート IC から目的地(観光名所等)へ向かう場合の案内性、IC 周辺の交通への影響等を把握
- ・恒常的スマート IC 設置を視野に入れ監視員、誘導員の人員配置等を含む運営上の低コスト化を検討

## (2) 経緯

平成16年4月6～23日	国土交通省が候補箇所を募集
平成16年6月18日	全国の実験候補箇所として35箇所を登録と発表
平成16年6月25日	第1回尼御前SAスマートIC地区協議会設立準備会
平成16年7月22日	第2回尼御前SAスマートIC地区協議会設立準備会
平成16年9月3日	社会実験実施を国土交通省に申請
平成16年11月11日	尼御前SAスマートIC社会実験 採択
平成17年4月12日	第1回尼御前SAスマートIC地区協議会開催

## (3) 実験終了後の対応

交通量調査や利用者アンケートなどの結果から、尼御前SAにおけるスマートIC設置効果を検証し、公表します。

## (ご利用上の注意)

簡易な ETC 出入口のためスマート IC では ETC ゲートの前で**必ず一旦停止**が必要です。ご利用にあたっては、ETC 車載器に**カードを挿入して通行**して下さい。

ETC カードのみのご利用はできません。

天候や機器故障等、道路管理上、予告無しにスマート IC を閉鎖する場合がございますのでご了承ください。

# 別 添

## 尼御前SAスマートIC地区協議会 名簿

関係機関名	役職	氏名	
加賀市観光協会	会長	吉田 博示	
加賀商工会議所	専務理事	荒井 喜市	
山中町商工会 山中温泉観光協会	会長	上口 昌徳	
橋立地区まちづくり推進協議会	会長	東木 武彦	
金明地区まちづくり推進協議会	会長	小坂 浩幸	
国土交通省北陸地方整備局 金沢河川国道事務所	調査第二課長	清水 将之	
日本道路公団 北陸支社 建設部	工務課長	楠 文隆	
日本道路公団 北陸支社 営業部	営業企画課長	布留川茂樹	
日本道路公団 北陸支社 保全部	交通技術課長	菊澤 朋巳	
日本道路公団 北陸支社 金沢管理所	副所長	國原 博司	
石川県警察本部 交通部 交通規制課	課長補佐	山本 悟	
石川県警察本部 交通部 高速道路交通警察隊	企画指導係長	竹松 由岐生	
石川県 大聖寺警察署	交通課長	前山 和夫	
石川県 土木部 道路建設課	次長	国田 雅人	
加賀市 地域支援部	部長	徳田 弘	
加賀市 観光情報センター	所長	岡田 基義	
加賀市 都市整備部	部長	本田 義勝	

### (事務局)

加賀市	施設整備課 観光商工課
山中町	産業振興課